

環境保全のための我孫子市率先行動計画
我孫子市地球温暖化対策実行計画

あびこエコ・プロジェクト5

2021（令和3）年度温室効果ガス排出量等調査結果報告書

2023（令和5）年1月

我 孫 子 市

目 次

温室効果ガス総排出量の削減	1
1 温室効果ガス総排出量の状況.....	1
2 個別項目別の温室効果ガス排出量の状況.....	3
(1) 施設利用に伴う燃料.....	3
(2) 自動車利用に伴う燃料.....	7
(3) 電気使用量.....	10
(4) 一般廃棄物焼却量（廃プラスチック焼却量）及びし尿処理.....	11
3 施設別の温室効果ガス排出量の状況.....	12
4 使用量の状況.....	14
環境への負荷の低減	15
1 市の事務事業（自動車の利用）.....	16
(1) 排気ガスによる負荷の低減に係る状況.....	16
2 市の事務事業（施設の利用）.....	17
(1) ごみの減量・リサイクルの推進に係る状況.....	17
(2) 水の適正な利用に係る状況.....	20
(3) 自然エネルギー導入に係る状況.....	21
3 自然の利用.....	22
(1) 緑の損失等による影響の低減（生き物との共存）に係る状況.....	22
市民・事業者の環境に配慮した行動の促進	24
1 一般廃棄物焼却量（前掲のとおり）.....	25
2 補助事業の交付状況.....	25
3 ノーカーデー実施率.....	30

温室効果ガス総排出量の削減

～ 地球温暖化対策実行計画の推進 ～

本市では、地球温暖化対策実行計画を2001（平成13）年度に策定し、2021（令和3）年度から第五次計画に移行し、取り組みを継続実行しています。

第一次計画（計画期間：2001（平成13）年度～2005（平成17）年度）

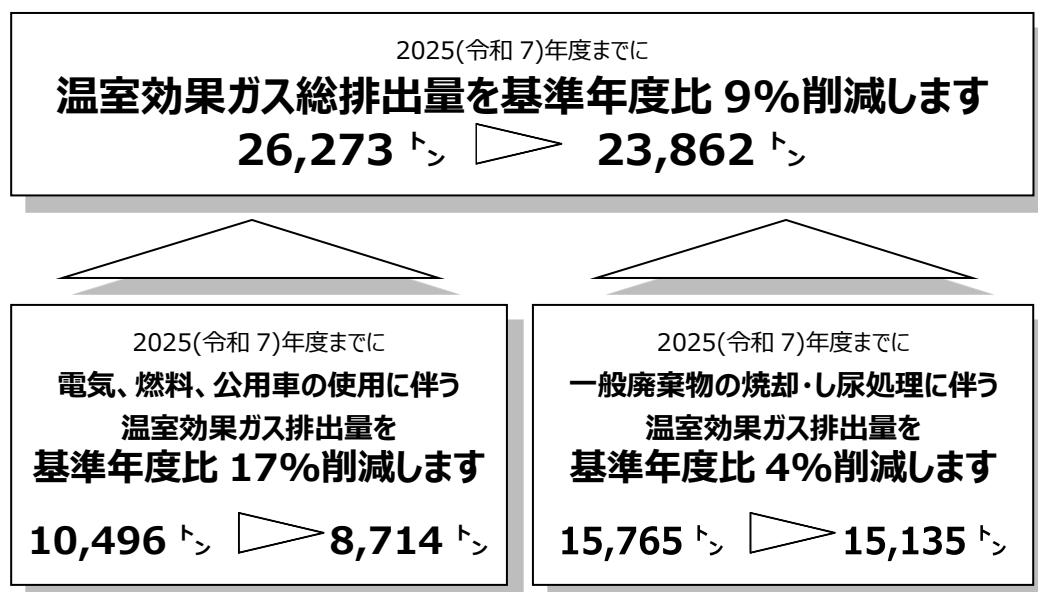
第二次計画（計画期間：2006（平成18）年度～2010（平成22）年度）

第三次計画（計画期間：2011（平成23）年度～2015（平成27）年度）

第四次計画（計画期間：2016（平成28）年度～2020（令和2）年度）

第五次計画（計画期間：2021（令和3）年度～2025（令和7）年度）

地球温暖化対策実行計画においては、電気・燃料等の使用量、廃棄物焼却量等について集計し、本市が直接実施する事務・事業から排出される温室効果ガスの量を毎年公表しています。



備考) 目標は有効数字4桁で四捨五入しています。

図1 温室効果ガス総排出量の削減に係る目標

1 温室効果ガス総排出量の状況

2021（令和3）年度の温室効果ガス総排出量は、26,506 t-CO₂ となり、基準年から0.9%増加となりました。内訳としては、電気・燃料・公用車の使用に伴う温室効果ガス排出量が4.8%の減少、総排出量の約6割以上を占めるごみの焼却に伴う温室効果ガス排出量が4.8%の増加となっています。

表1 温室効果ガスの総排出量の状況

区 分	単位	基準年 2018 (H30) 年度	2021 (R3) 年度	対基準年 増減率	目標年 2025 (令和7) 年度
		【A】	【B】	$\frac{【B】-【A】}{【A】}$	
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	26,273	26,506	+0.9%	23,862 (-9%)
電気、燃料、公用車の 使用に伴う温室効果ガス	t-CO ₂	10,508	10,006	-4.8%	8,715 (-17%)
燃料の使用(施設)	t-CO ₂	2,174	2,238	+2.9%	1,806
燃料の使用(自動車)	t-CO ₂	320	283	-11.6%	266
電気の使用	t-CO ₂	8,002	7,475	-6.6%	6,642
その他	t-CO ₂	12	11	-8.3%	10
ごみの焼却	t-CO ₂	15,435	16,177	+4.8%	14,818 (-4%)
し尿処理	t-CO ₂	330	323	-2.1%	317
対前年増減量	t-CO ₂	—	[—]	[—]	—
対基準年累積増減量	t-CO ₂	—	[-233]	-0.9%	-9.0%

- 備考) 1 その他：自動車の走行量、HFC
 2 端数処理の関係で合計が合わないことがあります。
 3 目標値は有効数字4桁で丸めています。

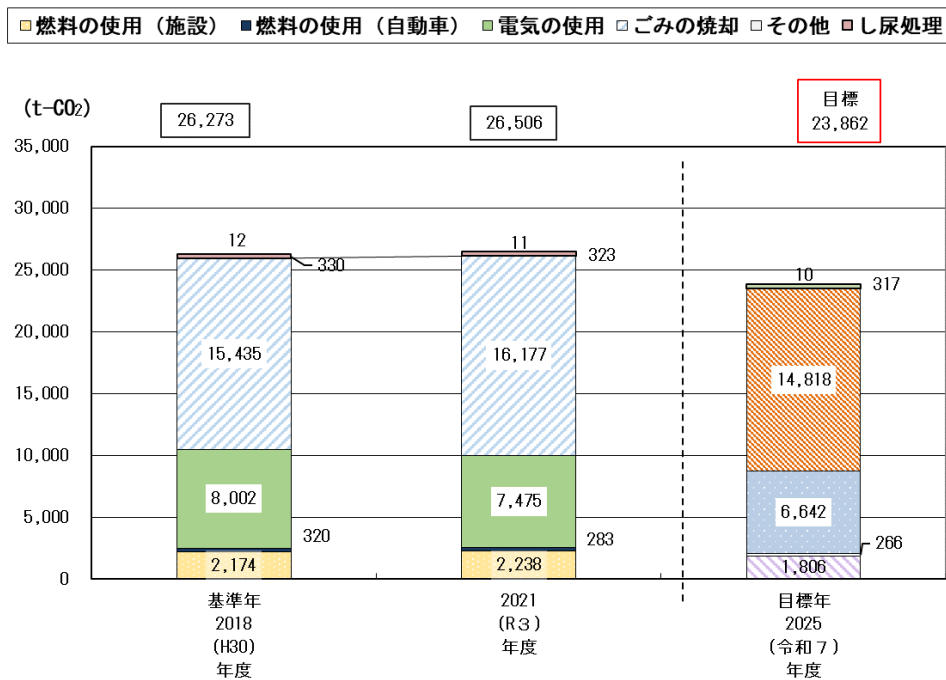


図2 温室効果ガスの総排出量の状況

2 個別項目別の温室効果ガス排出量の状況

(1) 施設利用に伴う燃料

施設利用に伴う燃料使用量は、項目ごとに二酸化炭素排出量に換算し、その値の合計値において基準年より17%削減することを目指しています。

2021（令和3）年度における温室効果ガス排出量は2,237,961 kg-CO₂であり、基準年の2,174,181 kg-CO₂と比較して63,780 kg-CO₂増加し、目標としている17%の削減には至りませんでした。

燃料使用量を各種燃料別に見ると、基準年と比較してガソリン、灯油、都市ガスの使用量が増加しています。そのうち、都市ガスが施設利用に伴う燃料における温室効果ガス排出量の9割以上を占めています。

表2 使用量及び温室効果ガス排出量の状況

項目	目標	単位	基準年 2018 (平成30) 年度	2021 (令和3) 年度	対基準年 増減率	目標年 2025 (令和7) 年度
ガソリン	17%削減	L	420 (974)	655 (1,520)	+56.0%	349 (809)
軽油	17%削減	L	125 (323)	5 (13)	-96.0%	104 (268)
灯油	17%削減	L	16,427 (40,902)	19,937 (49,642)	+21.4%	13,634 (33,949)
A重油	17%削減	L	37,836 (102,536)	25,917 (70,235)	-31.5%	31,404 (85,105)
LPガス	17%削減	kg	15,877 (47,630)	9,878 (29,633)	-37.8%	13,178 (39,533)
都市ガス	17%削減	m ³	865,975 (1,931,124)	935,838 (2,086,919)	+8.1%	718,759 (1,602,833)
温室効果ガス 排出量	17%削減	kg-CO ₂	2,174,181	2,237,961	+2.9%	1,804,570

- 備考) 1 温室効果ガス排出量は各燃料使用に伴う排出量の合計値です。
 2 () 内の値は温室効果ガス排出量（単位：kg-CO₂）です。
 3 目標値は有効数字4桁で丸めています。

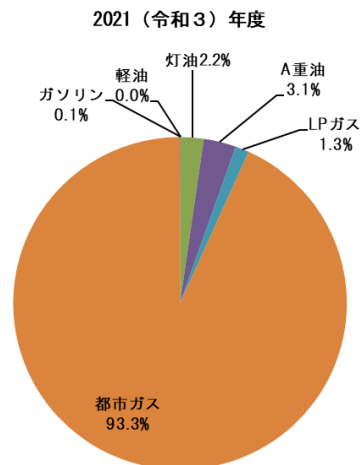
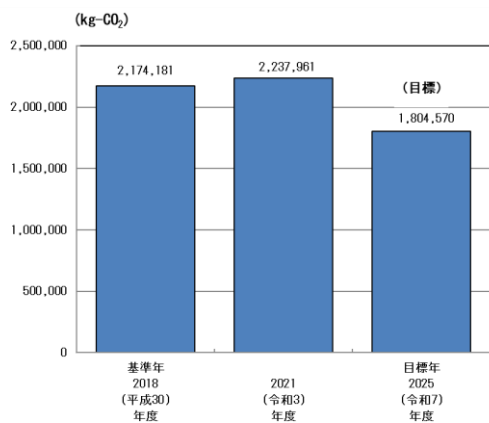


図3 温室効果ガスの排出量の状況

図4 温室効果ガスの排出割合の状況

① ガソリンの使用量

2021（令和3）年度のガソリンの使用量は655Lであり、基準年の420Lと比較すると235L、割合にして56.0%増加しました。温室効果ガス排出量は1,520 kg-CO₂であり、基準年の974 kg-CO₂と比較して546 kg-CO₂増加しました。

目標値（349 L）と比較すると、306 L（温室効果ガス排出量は711 kg-CO₂）超過しています。

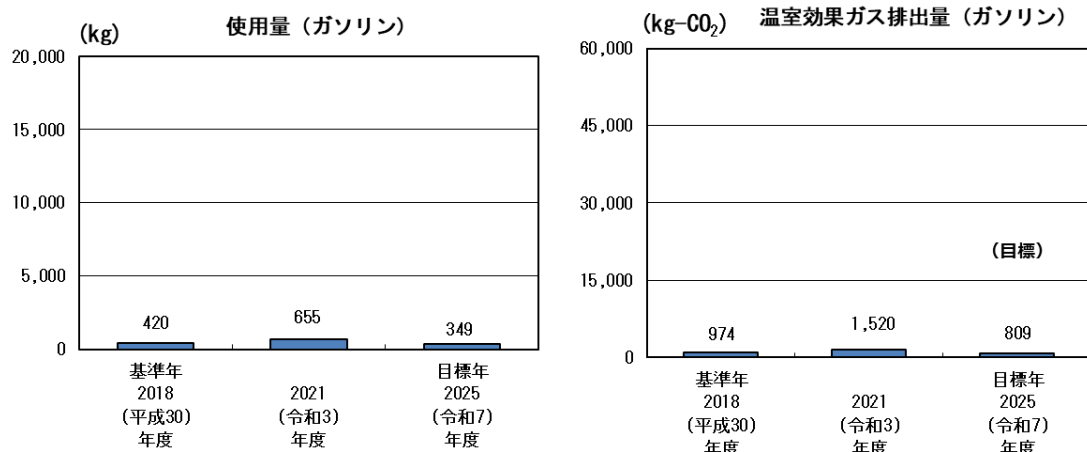


図5 使用量及び温室効果ガス排出量【ガソリン】

② 軽油の使用量

2021（令和3）年度の軽油の使用量は5Lであり、基準年の125 Lと比較すると120 L、割合にして96.0%減少しました。温室効果ガス排出量は13 kg-CO₂であり、基準年の323 kg-CO₂と比較して310 kg-CO₂減少しました。

目標値（104 L）と比較すると、99 L（温室効果ガス排出量は255 kg-CO₂）下回り、目標を充分達成しています。

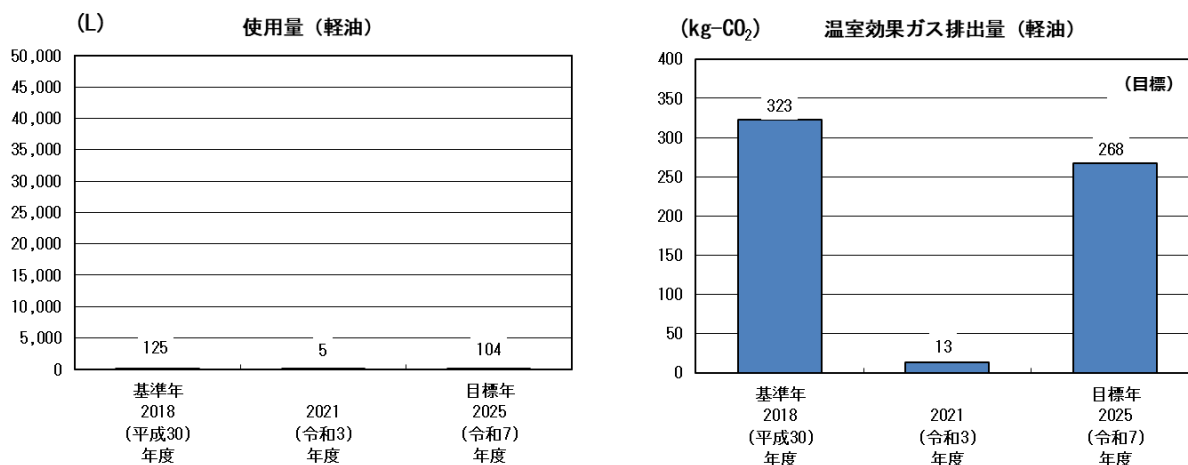


図6 使用量及び温室効果ガス排出量【軽油】

③ 灯油の使用量

2021（令和3）年度の灯油の使用量は19,937 Lであり、基準年の16,427 Lと比較すると3,510 L、割合にして21.4%増加しました。温室効果ガス排出量は49,642 kg-CO₂であり、基準年の40,902 kg-CO₂と比較して8,740 kg-CO₂増加しました。

目標値（13,634 L）と比較すると、6,303 L（温室効果ガス排出量は15,693 kg-CO₂）超過しています。

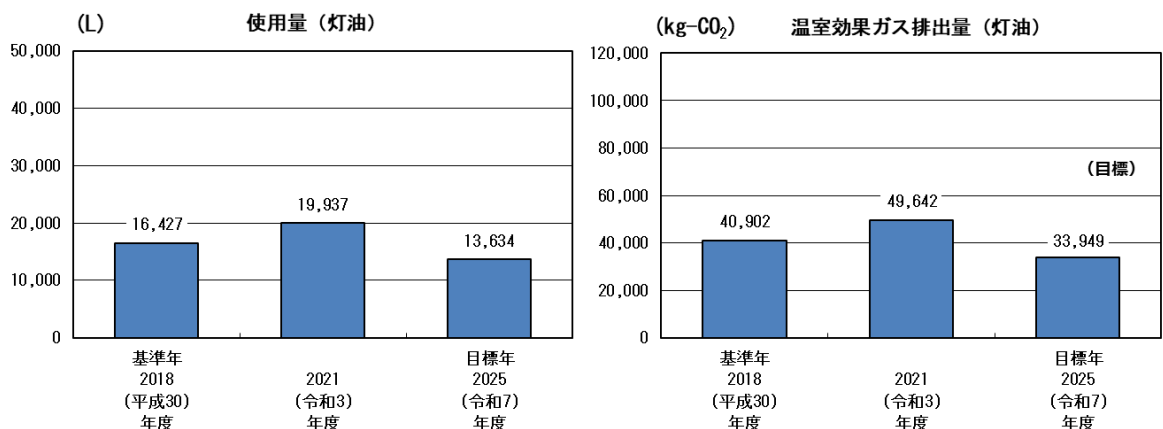


図7 使用量及び温室効果ガス排出量【灯油】

④ A重油の使用量

2021（令和3）年度のA重油の使用量は25,917 Lであり、基準年の37,836 Lと比較すると11,919L、割合にして31.5%減少しました。温室効果ガス排出量は70,235 kg-CO₂であり、基準年の102,536 kg-CO₂と比較して32,301 kg-CO₂減少しました。

目標値（31,404L）と比較すると、5,487L（温室効果ガス排出量は14,870kg-CO₂）下回り、目標を充分達成しています。

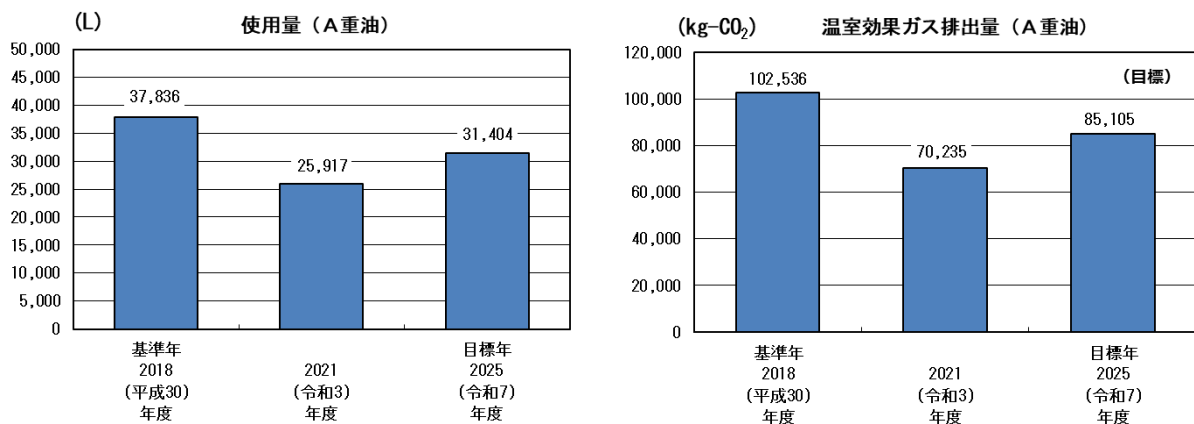


図8 使用量及び温室効果ガス排出量【A重油】

③LPガスの使用量

2021（令和3）年度のLPガスの使用量は9,878 kgであり、基準年の15,877 kgと比較すると5,999 kg、割合にして37.8%減少しました。温室効果ガス排出量は29,633 kg-CO₂であり、基準年の47,630 kg-CO₂と比較して17,997 kg-CO₂減少しました。

目標値（13,178 kg）と比較すると、使用量は3,300 kg（温室効果ガス排出量は9,900 kg-CO₂）下回り、目標を十分に達成しています。

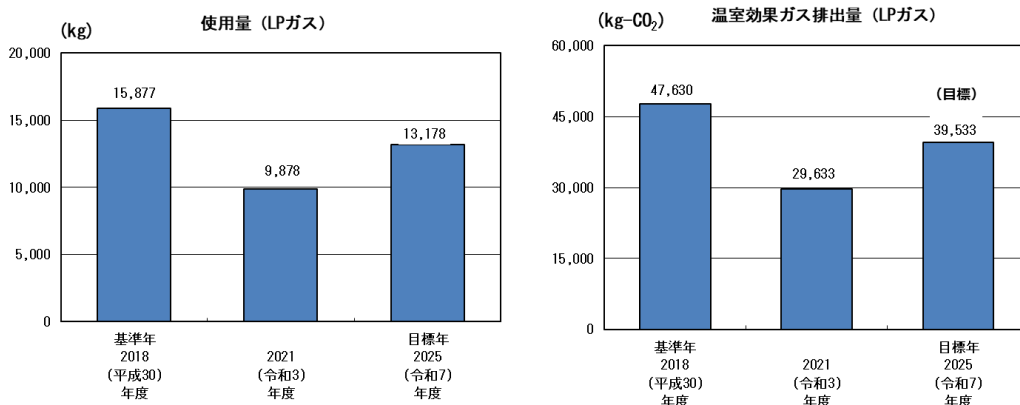


図9 使用量及び温室効果ガス排出量【LPガス】

④都市ガスの使用量

2021（令和3）年度の都市ガスの使用量は935,838 m³であり、基準年の865,975 m³と比較すると69,863 m³、割合にして8.1%増加しました。温室効果ガス排出量に換算すると2,086,919 kg-CO₂であり、基準年の1,931,124 kg-CO₂と比較して155,795 kg-CO₂増加しました。

目標値（718,759 m³）と比較すると、217,079 m³（温室効果ガス排出量は484,086 kg-CO₂）超過しています。

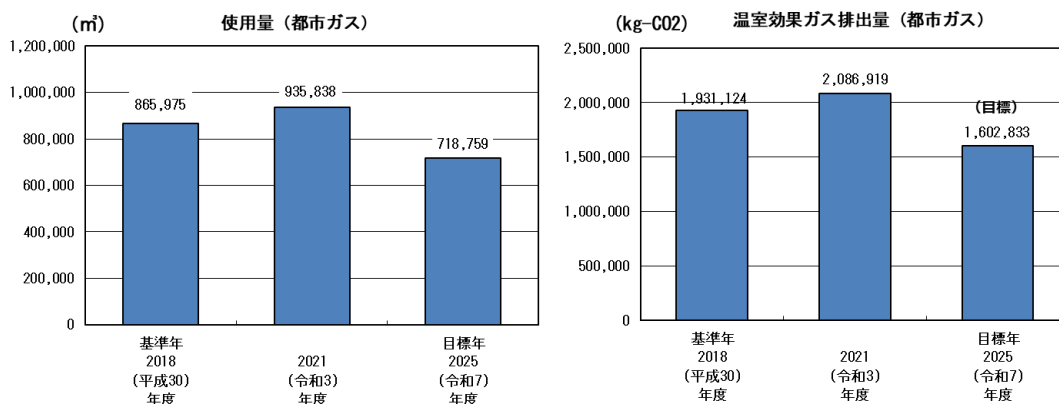


図10 使用量及び温室効果ガス排出量【都市ガス】

(2) 自動車利用に伴う燃料

自動車利用に伴う燃料使用量をそれぞれ二酸化炭素排出量に換算し、その値の合計値において基準年より 17 %削減することを目指しています。

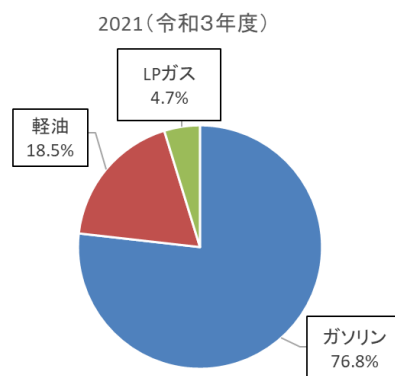
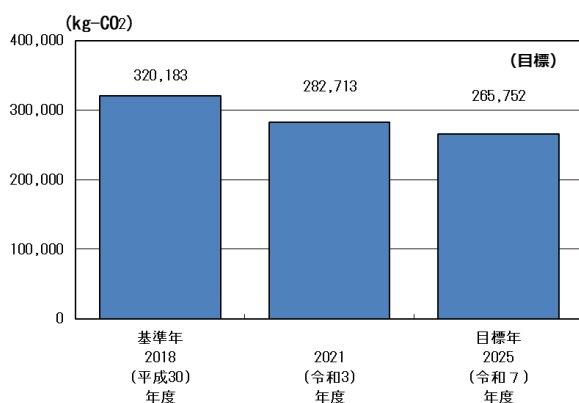
2021（令和3）年度における温室効果ガス排出量は 282,713kg-CO₂ であり、基準年（320,183 kg-CO₂）と比較して 37,470 kg-CO₂（11.7%）減少していますが、目標に対して 16,961 kg-CO₂ 超過しています。内訳としては、ガソリンは 15.2 %減少、軽油は 8.9 %減少、LPガスは 27.6 %減少となりました。

2021（令和3）年度における燃料別の温室効果ガス排出割合は、ガソリンが 76.8 %を占めており、軽油は 18.5 %、LPガスが 4.7 %となりました。

表 3 使用量及び温室効果ガス排出量

項目	目標	単位	基準年 2018 (平成30) 年度	2021 (令和3) 年度	対基準年 増減率	目標年 2025 (令和7) 年度
ガソリン	17%削減	L	110,384 (256,091)	93,580 (217,106)	-15.2%	91,619 (212,555)
軽油	17%削減	L	22,215 (57,314)	20,237 (52,211)	-8.9%	18,438 (47,571)
LPガス	17%削減	kg	6,171 (18,514)	4,465 (13,396)	-27.6%	5,122 (15,366)
温室効果ガス 排出量	17%削減	kg-CO ₂	320,183	282,713	-11.7%	265,752

備考) 1 温室効果ガス排出量は各燃料使用に伴う排出量の合計値です。
 2 () 内の値は温室効果ガス排出量（単位：kg-CO₂）です。
 3 目標値は有効数字4桁で丸めています。



量の状況

図 12 温室効果ガスの排出割合の状況

① ガソリンの使用量

2021（令和3）年度のガソリンの使用量は93,580 Lであり、基準年の110,384 Lと比較すると16,804 L、割合にして15.2%減少しました。温室効果ガス排出量は217,106 kg-CO₂であり、基準年の256,091 kg-CO₂と比較して38,985 kg-CO₂減少しました。

目標値（91,619 L）と比較すると、1,961 L（温室効果ガス排出量は4,551 kg-CO₂）超過しています。

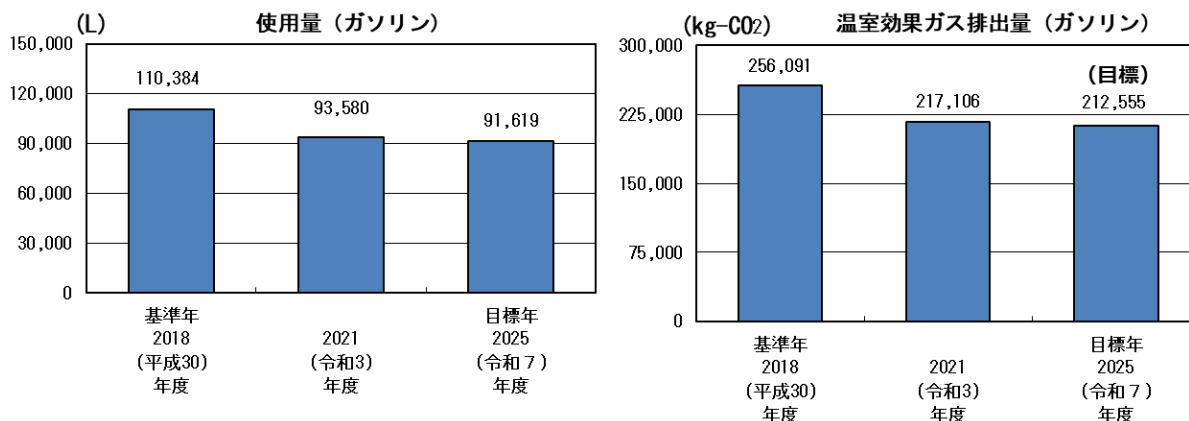


図13 使用量及び温室効果ガス排出量【ガソリン】

② 軽油の使用量

2021（令和3）年度の軽油の使用量は20,237 Lであり、基準年の22,215 Lと比較すると1,978 L、割合にして8.9%減少しました。温室効果ガス排出量は52,211 kg-CO₂であり、基準年の57,314 kg-CO₂と比較して5,103 kg-CO₂増加しました。

目標値（18,438 L）と比較すると、1,799 L（温室効果ガス排出量は4,640 kg-CO₂）超過しています。

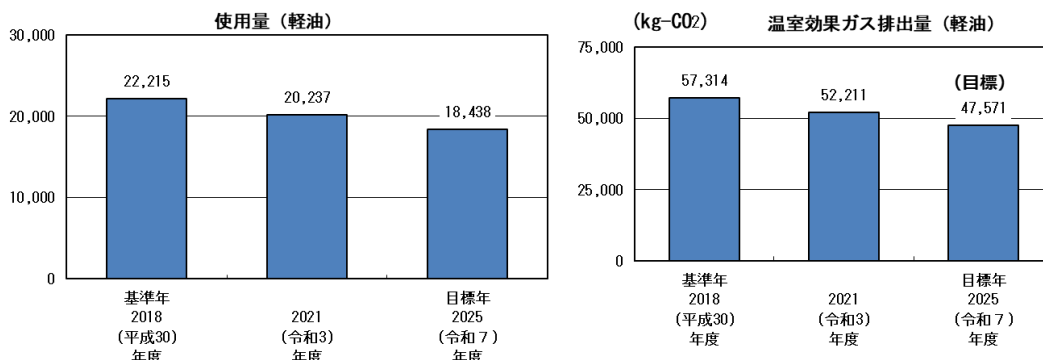


図14 使用量及び温室効果ガス排出量【軽油】

③ LPガスの使用量

2021（令和3）年度のLPガスの使用量は4,465 kgであり、基準年の6,171 kgと比較すると1,706 kg、割合にして27.6%減少しました。温室効果ガス排出量は13,396 kg-CO₂であり、基準年の18,514 kg-CO₂と比較して5,118 kg-CO₂減少しました。

目標値（5,122 kg）と比較すると、使用量は657 kg（温室効果ガス排出量は1,970 kg-CO₂）下回り、目標を達成しています。

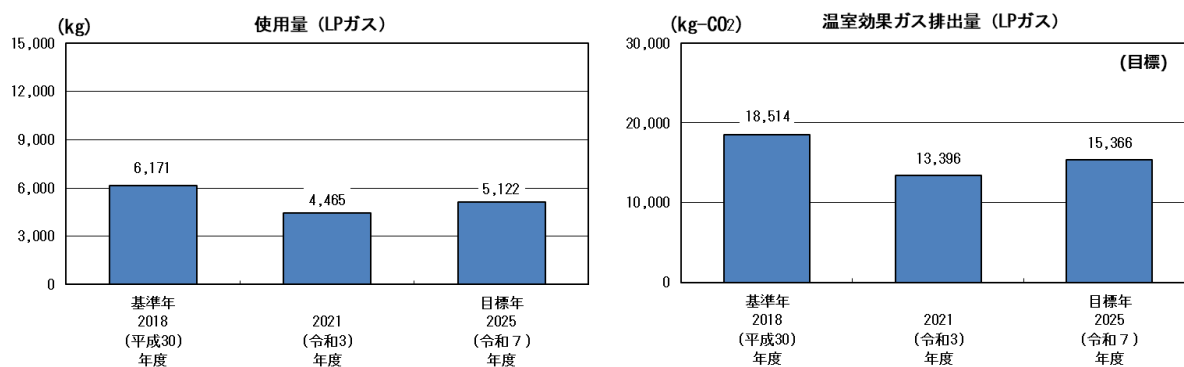


図 15 使用量及び温室効果ガス排出量【LPガス】

(3) 電気使用量

電気使用量は、基準年より 17 %削減することを目指しています。

2021 (令和 3) 年度の電気使用量は 16,784,570 kWh であり、基準年の 15,930,176 kWh と比較すると 854,394 kWh、割合にして 5.4 %増加しました。温室効果ガス排出量に換算すると 7,474,805 kg-CO₂ であり、基準年の 8,002,098 kg-CO₂ と比較して 527,293 kg-CO₂ 減少しました。

目標値 (13,222,046 kWh) と比較すると、3,562,524 kWh (温室効果ガス排出量は 833,064 kg-CO₂) の削減が必要です。

表 4 使用量及び温室効果ガス排出量

項目	目標	単位	基準年 2018 (平成30) 年度	2021 (R3) 年度	対基準年 増減率	目標年 2025 (令和7) 年度
電気使用量	17%削減	kWh	15,930,176 (8,002,098)	16,784,570 (7,474,805)	+5.4% (-6.6%)	13,222,046 (6,641,741)

- 備考) 1 () 内の値は温室効果ガス排出量 (単位: kg-CO₂) です。
 2 目標値は有効数字 4 桁で丸めています。
 3 電気の使用による温室効果ガス排出量は、各電気事業者別の排出係数により算定しています。また、排出係数は、各年度の算定時に把握できる最新のものを使っています。

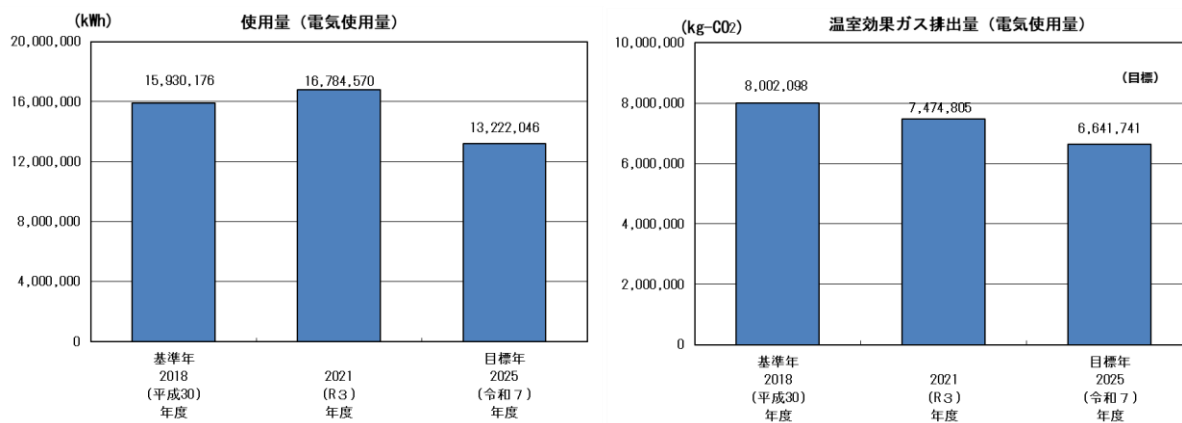


図 16 使用量及び温室効果ガス排出量【電気使用量】

(4) 一般廃棄物焼却量（廃プラスチック焼却量）及びし尿処理

一般廃棄物焼却量（廃プラスチック焼却量）及びし尿処理に伴う温室効果ガス排出量は、基準年より4%削減することを目指しています。

2021（令和3）年度の一般廃棄物焼却量は29,538 tであり、基準年の28,498 tと比較すると1,040 t、割合にして3.6%増加しました。温室効果ガス排出量は16,176,449 kg-CO₂であり、基準年の15,434,947 kg-CO₂と比較して741,502 kg-CO₂増加しました。

廃プラスチック焼却量は5,824 tであり、基準年の5,555tと比較すると269t、割合にして4.8%増加しました。温室効果ガス排出量は15,676,656 kg-CO₂であり、基準年の14,952,751 kg-CO₂と比較して723,905 kg-CO₂増加しました。

目標値を達成するには、一般廃棄物焼却量は目標の27,358 tに対して2,180 t（温室効果ガス排出量は1,358,900 kg-CO₂）、廃プラスチック焼却量は目標の5,333 tに対して491 t（温室効果ガス排出量は1,322,015 kg-CO₂）の削減が必要です。

表5 一般廃棄物焼却量及び温室効果ガス排出量

項目	目標	単位	基準年 2018 (平成30) 年度	2021 (R3) 年度	対基準年 増減率	目標年 2025 (令和7) 年度
一般廃棄物焼却量	4%削減	t	28,498 (15,434,947)	29,538 (16,176,449)	+3.6% +4.8%	27,358 (14,817,549)
剪定枝木・脱水ケーキ量		t	2,823	2,620	-7.2%	-
廃プラスチック以外焼却量		t	22,943 (482,196)	23,714 (499,793)	+3.4% +3.6%	22,025 (462,908)
廃プラスチック焼却量	4%削減	t	5,555 (14,952,751)	5,824 (15,676,656)	+4.8% +4.8%	5,333 (14,354,641)
し尿処理	4%削減	t	(329,705)	(323,449)	-1.9%	(317,000)

- 備考) 1 () 内の値は温室効果ガス排出量（単位：kg-CO₂）です。
 2 廃プラスチック焼却量の廃プラ率は、18.1%で固定しています。
 4 目標値は有効数字4桁で丸めています。

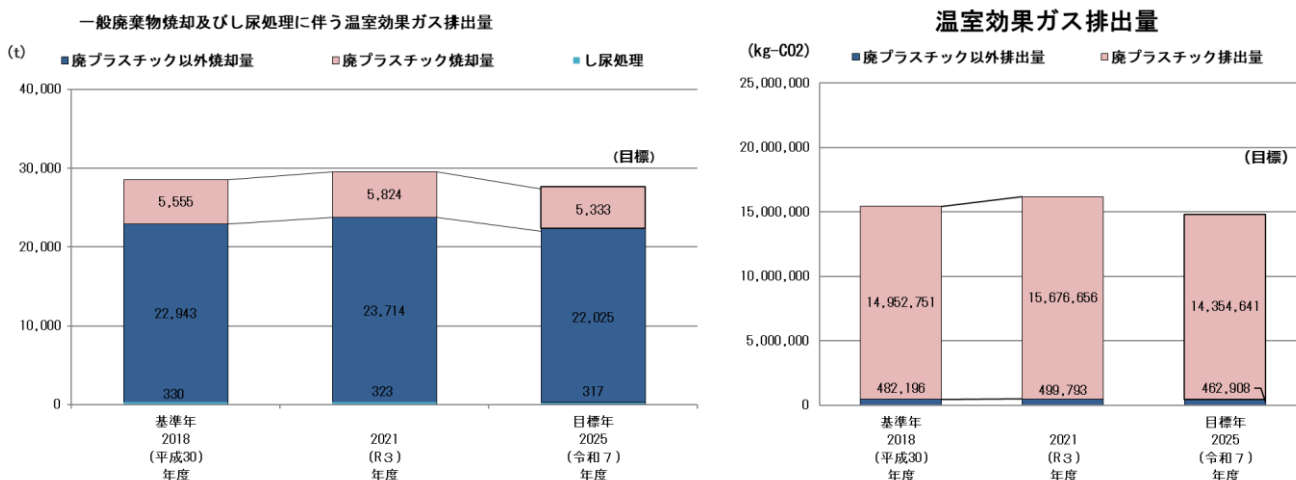


図17 焼却量及び温室効果ガス排出量

3 施設別の温室効果ガス排出量の状況

本計画では、電気・燃料等に係る温室効果ガスの削減目標（17%削減）を、施設ごとに一律にあてはめた参考値を設定し、全体の目標達成に向けた進捗状況を把握しています。

2021（令和3）年度においても、我孫子市ではクリーンセンターの事業活動（ごみの焼却）に伴う温室効果ガス排出量が、全体の約7割を占めています。

表6 施設別の温室効果ガス排出量

区 分	基準年 2018 (平成30) 年度	2021 (R3) 年度	対基準年 増減率
	t-CO ₂	t-CO ₂	%
市役所庁舎(本庁舎、東・西別館、庁舎分館)	1,668	1,585	-5.0%
市役所庁舎(本庁舎)	359	398	+10.9%
市役所庁舎(東別館)	1,106	938	-15.2%
市役所庁舎(西別館)	181	230	+27.1%
市役所庁舎(庁舎分館)	22	19	-13.6%
水の館	378	296	-21.7%
行政サービスセンター	32	146	+356.3%
コミュニティ施設	574	396	-31.0%
福祉施設	411	314	-23.6%
保育園	121	125	+3.3%
グリーンセンター	17,447	18,088	+3.7%
消防本部	324	272	-16.0%
水道局	1,815	1,817	+0.1%
教育委員会	888	755	-15.0%
学校	2,615	2,713	+3.7%
我孫子市(全体)	26,273	26,506	+0.9%

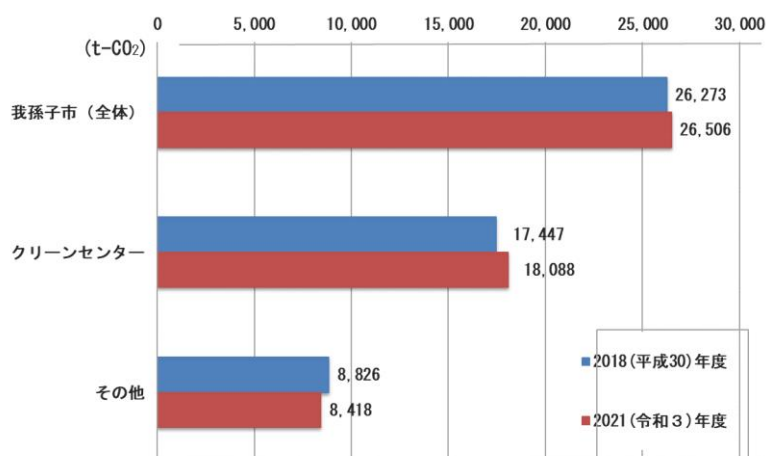


図 18 市全体の温室効果ガス排出量比較

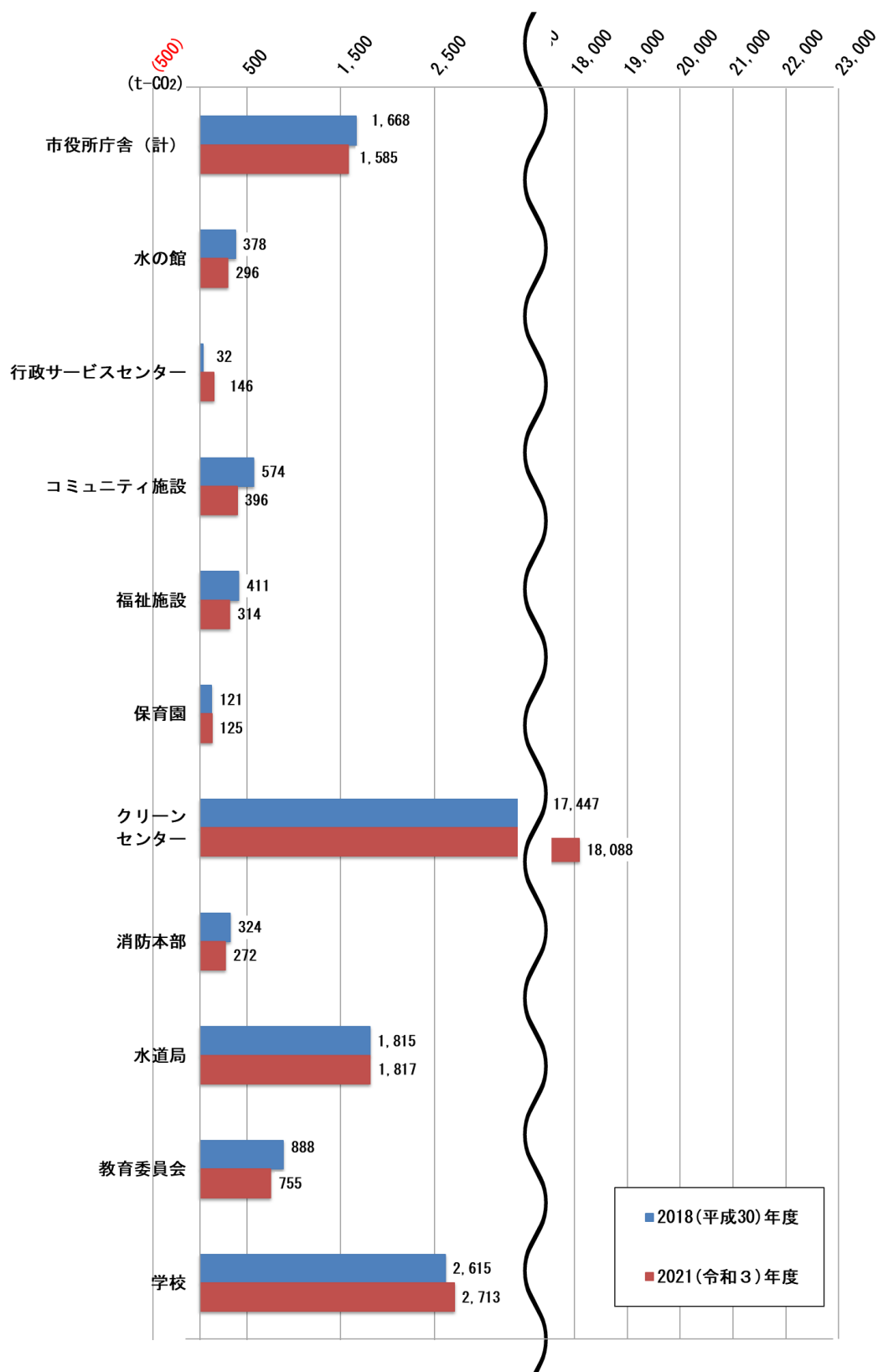


図 19 各施設別温室効果ガス排出量

4 使用量の状況

2021（令和3）年度の個別項目別の使用量については表のとおりです。

（1）施設及び自動車における燃料使用量

表7 施設及び自動車における燃料使用量の状況

区 分	施設における燃料使用量						自動車における燃料使用量					
	施設内						施設外					
	ガソリン	軽油	灯油	A重油	LPG	都市ガス	ガソリン	軽油	LPG	ガソリン	軽油	LPG
L	L	L	L	kg	m ³	L	L	kg	L	L	kg	
市役所庁舎	0	0	148	2,381	4,511	62,315	0	0	0	32,920	386	4,146
本庁舎	0	0	148	0	0	30,756	0	0	0	8,201	0	0
東別館	0	0	0	2,381	72	0	0	0	0	14,212	386	4,146
西別館	0	0	0	0	4,439	28,785	0	0	0	9,897	0	0
分館	0	0	0	0	0	2,774	0	0	0	610	0	0
水の館	170	0	0	0	0	25,144	0	0	0	3,533	0	0
行政サービスセンター	0	0	1,078	0	0	19	0	0	0	0	0	0
コミュニティ施設	0	0	0	0	0	57,533	0	0	0	0	0	0
福祉施設	0	0	0	23,496	37	45,583	0	0	0	8,037	312	0
保育園	0	0	0	0	0	25,244	0	0	0	231	0	0
クリーンセンター	0	0	11,971	0	1,967	0	0	5,937	0	2,043	2,389	319
消防本部	0	0	1,221	0	2,546	31,002	0	0	0	34,631	10,592	0
水道局	0	0	1,800	40	205	33,289	0	0	0	1,854	0	0
教育委員会	0	0	320	0	611	87,121	0	0	0	10,331	621	0
学校	485	5	3,398	0	0	568,588	0	0	0	0	0	0
合 計	655	5	19,937	25,917	9,878	935,838	0	5,937	0	93,580	14,300	4,465

（2）電気使用量

表8 電気使用量の状況

区 分	電気の使用量									
	施設内									施設外
	東電昼間 kWh	V-Powe昼間	ダイヤモンド	ミツウロコ昼間	シン・エナジー	東日本旅客鉄	生活クラブエ	リエスパワー	ホープ	東電昼間 kWh
市役所庁舎	1,414,543	0	0	96,323	0	0	9,414	0	0	1,485,082
本庁舎	691,507	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東別館	415,404	0	0	96,323	0	0	0	0	0	1,485,082
西別館	281,919	0	0	0	0	0	9,414	0	0	0
分館	25,713	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水の館	516,489	0	0	0	0	0	0	0	0	0
行政サービスセンター	179,049	0	0	0	0	0	0	0	0	141,463
コミュニティ施設	267,393	0	121,054	174,256	0	0	0	0	93,846	0
福祉施設	286,368	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保育園	152,223	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クリーンセンター	3,409,522	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消防本部	182,723	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水道局	3,876,623	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教育委員会	793,069	0	0	0	0	0	0	374,070	0	0
学校	3,211,060	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	14,289,062	0	121,054	270,579	0	0	9,414	374,070	93,846	1,626,545

環境への負荷の低減

～ 環境保全のための率先行動計画の推進 ～

環境負荷低減のための達成目標は、直接温室効果ガス排出量の算定に反映されませんが、市の事務・事業によって生じる環境への負荷を可能な限り減らしていくために設定しています。

本市の活動は、「自動車の利用」「施設の利用」「工事の実施」「自然の利用」に大きく分けることができます。これらの活動によって、下の図に示すような環境への負荷が生じることになります。

それぞれの区分の活動によって生じる環境への負荷に対して、負荷量の削減に資する指標を抽出し、達成目標を設定することで、取り組みを推進します。

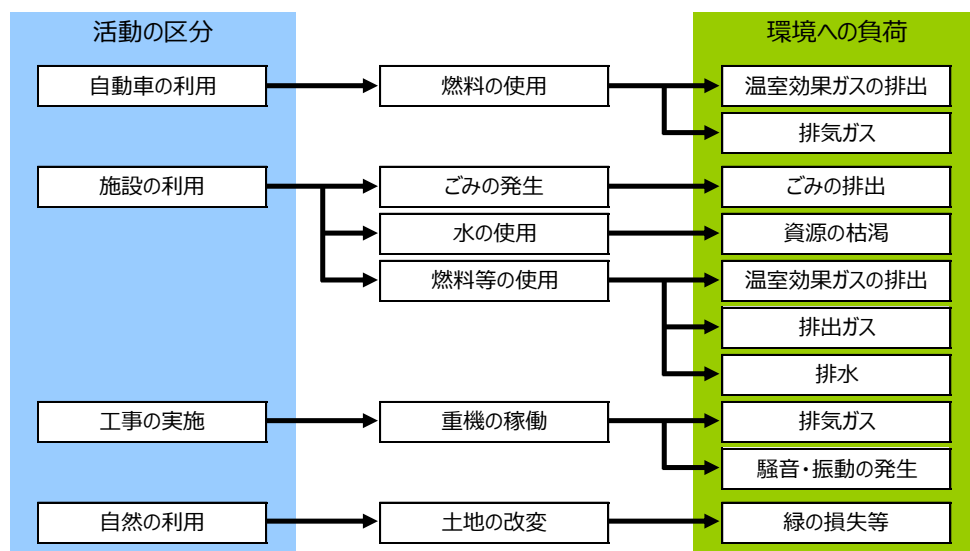


図 20 環境負荷低減のための達成目標・指標

※: 廃棄物に関して目標を定めるのは市役所庁舎のみ。廃棄物は「可燃ごみ」を対象とし、資源物は除外。

1 市の事務事業（自動車の利用）

(1) 排気ガスによる負荷の低減に係る状況

① 低公害車割合

低公害車割合は、目標年の 2025（令和 7）年度までに 6 ポイントの増加を目指しています。

2021（令和 3）年度の低公害車割合は 51.8 %で、基準年である 2018（平成 30）年度の 48.9 %と比較して 2.9 ポイント増加（増減率では 105.9 %）となりました。

2025（令和 7）年度の目標値を達成するには、あと 3 ポイントの増加が必要です。

表 9 低公害車割合の状況

項目	目標	単位	基準年 2018 (平成30) 年度	2021 (令和3) 年度	対基準年 増減率	目標年 2025 (令和7) 年度
低公害車割合	6ポイント増加	%	48.9	51.8	+5.9%	54.8

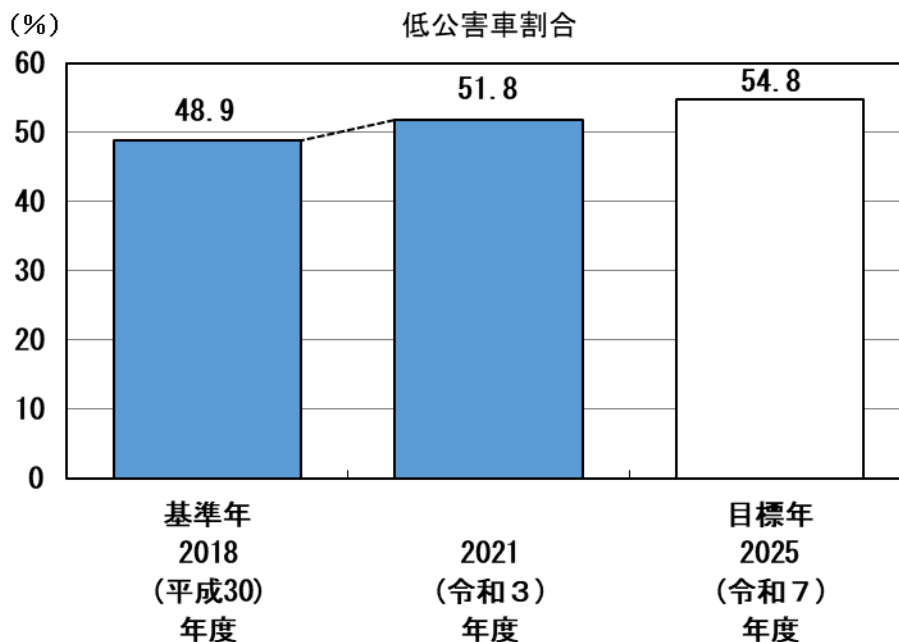


図 21 低公害車割合の状況

2 市の事務事業（施設の利用）

(1) ごみの減量・リサイクルの推進に係る状況

① 用紙購入量

用紙購入量は、目標年の2025（令和7）年度までに5%の削減を目指しています。

2021（令和3）年度の用紙購入量は21,407,190枚であり、基準年である2018（平成30）年度の20,274,465枚と比較して1,132,725枚増加（増減率では105.6%）となりました。

2025（令和7）年度の目標値に対して、約11.1%（2,146,448枚）増加となり、目標達成にはさらなる削減が必要です。

2021（令和3）年度の用紙購入量は、文書管理課が330万枚で最も多く、次いで我孫子中学校が108万枚、第三小学校が97万枚となっています。

表10 用紙購入量の状況

項目	目標	単位	基準年 2018 (平成30) 年度	2021 (令和3) 年度	対基準年 増減率	目標年 2025 (令和7) 年度
用紙購入量	5%削減	枚	20,274,465	21,407,190	+5.6%	19,260,742

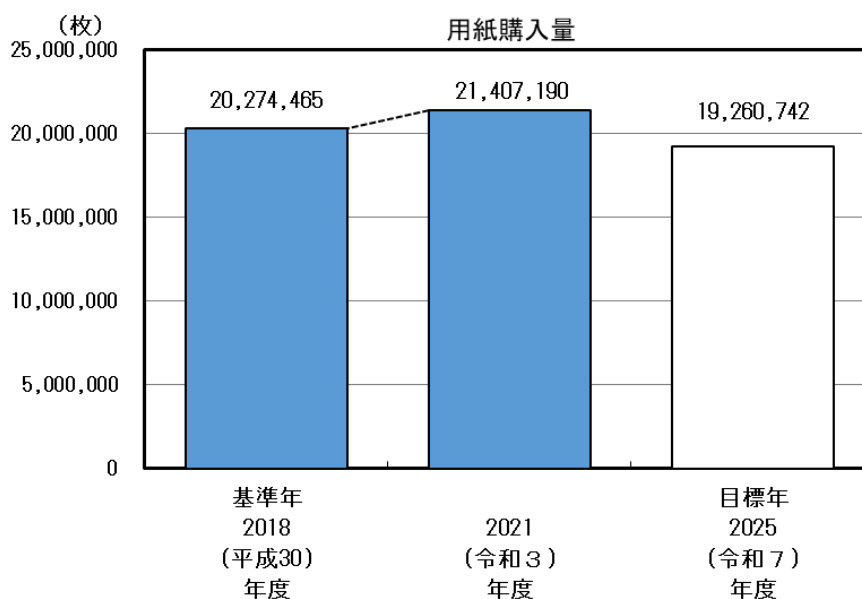


図22 用紙購入量の状況

② 1人あたり用紙購入量

1人あたり用紙購入量は、目標年の2025（令和7）年度までに5%の削減を目指しています。

2021（令和3）年度の1人あたり用紙購入量は16,467枚であり、基準年である2018（平成30）年度の15,877枚と比較して590枚増加（増減率では103.7%）となりました。

2025（令和7）年度の目標を達成するには、あと9.2%（1,384枚）の削減が必要です。

表11 1人あたり用紙購入量の状況

項目	目標	単位	基準年 2018 (平成30) 年度	2021 (令和3) 年度	対基準年 増減率	目標年 2025 (令和7) 年度
1人あたり用紙購入量	5%削減	枚	15,877	16,467	+3.7%	15,083

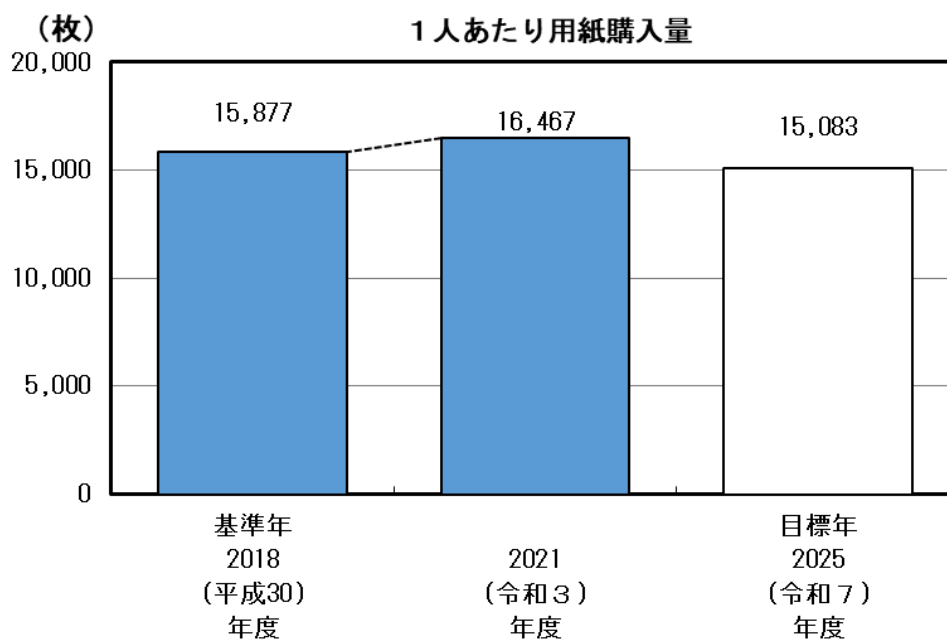


図23 1人あたり用紙購入量の状況

③ 廃棄物発生量

市役所庁舎等における廃棄物発生量は、目標年の2025（令和7）年度までに5%の削減を目指しています。

2021（令和3）年度の廃棄物発生量は3,127 kgであり、基準年である2018（平成30）年度の4,506 kgと比較して1,379 kg減少（増減率では69.4%）となりました。

2025（令和7）年度の目標値に対して、約27%（1,154 kg）超過削減となり、目標を達成しています。

表 12 廃棄物発生量の状況

項目	目標	単位	基準年 2018 (平成30) 年度	2021 (令和3) 年度	対基準年 増減率	目標年 2025 (令和7) 年度
※ 廃棄物発生量	5%削減	kg	4,506	3,127	-30.6%	4,281

※: 廃棄物に関して目標を定めるのは市役所庁舎のみ。廃棄物は「可燃ごみ」を対象とし、資源物は除外。
 廃棄物発生量(年間推定値) = 一定期間の廃棄物発生量(1週間の平均値) × 52(週/年)

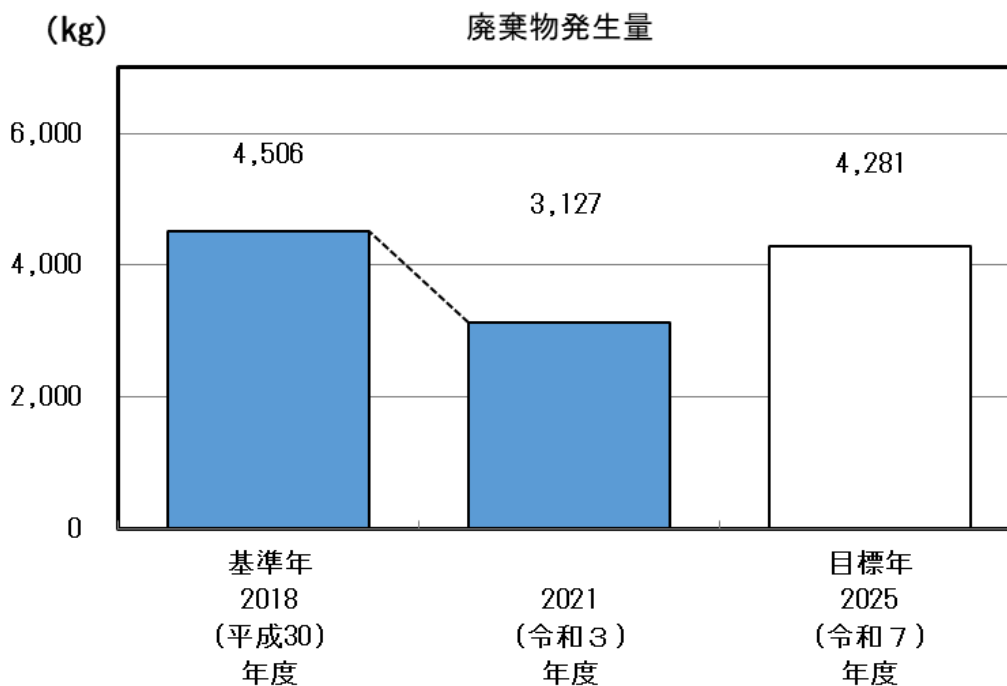


図 24 廃棄物発生量の状況

(2) 水の適正な利用に係る状況

① 水道使用量

水道使用量は、目標年の2025(令和7)年度までに5%の削減を目指しています。

2021(令和3)年度の水道使用量は合計194,743 m³であり、基準年である2018(平成30)年度の242,744 m³と比較すると48,001 m³減少(増減率では80.2%)となりました。

2025(令和7)年度の目標値に対して、約15.6%(35,864 m³)超過削減となり、目標を達成しています。

2021(令和3)年度の水道使用量の内訳は、学校が144,328 m³、学校以外が50,415 m³であり、学校が全体の約75%を占めています。

表13 水道使用量の状況

項目	目標	単位	基準年 2018 (平成 30) 年度	2021 (令和3) 年度	対基準年増 減率	目標年 2025 (令和7) 年度
水道使用量	5%削減	m ³	242,744	194,743	-19.8%	230,607
学校	—	m ³	169,187	144,328	-14.7%	—
学校以外	—	m ³	73,557	50,415	-31.5%	—

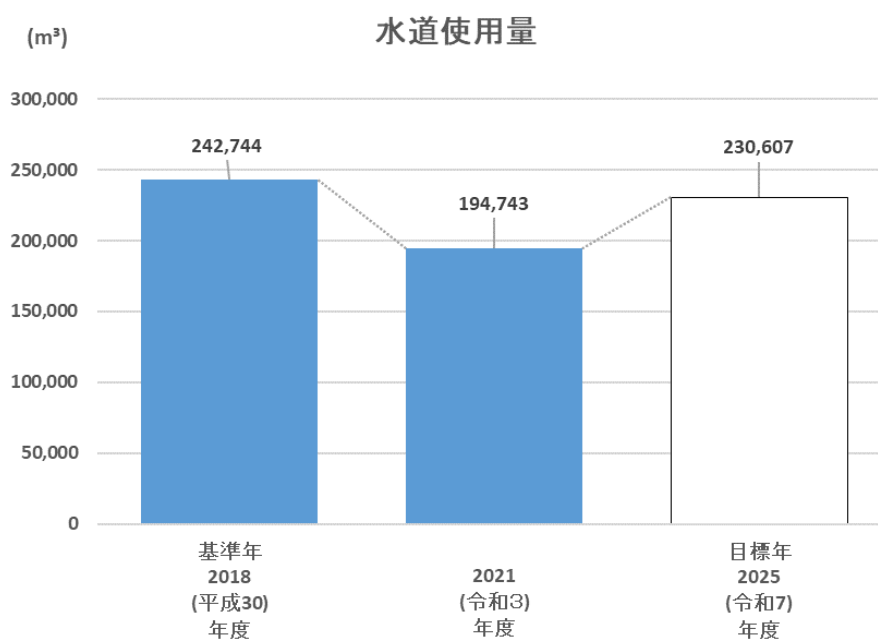


図25 水道使用量の状況

(3) 自然エネルギー導入に係る状況

① 自然エネルギー導入量

自然エネルギー導入量は、目標年の2025（令和7）年度までに2,020 kWの増加を目指しています。

2021（令和3）年度の導入実績はありませんでしたので、目標値に対してあと2020 kWの導入が必要です。

表 14 自然エネルギー導入量の状況

項目	目標	単位	基準年 2018 (平成 30) 年度	2021 (令和3) 年度	対基準 年 増減率	目標年 2025 (令和7) 年度
自然エネルギー 導入量	2,020kW増加	kW	100	100	0.0%	2,120

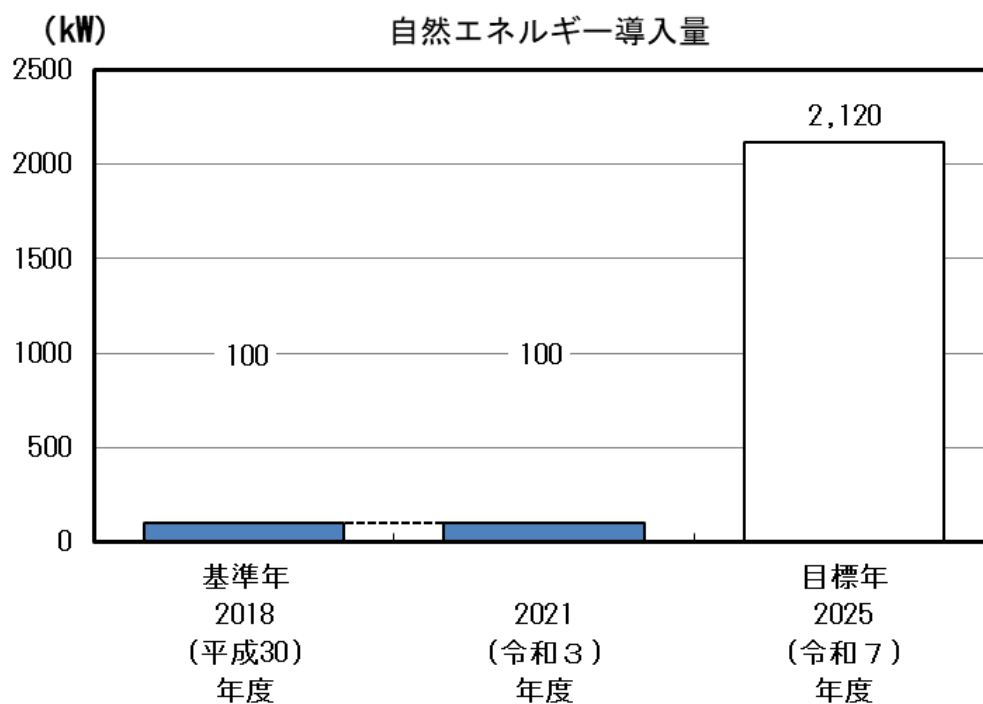


図 26 自然エネルギー導入量の状況

3 自然の利用

(1) 緑の損失等による影響の低減（生き物との共存）に係る状況

① 市内の緑の確保量

市内の緑の確保量は、目標年の2025（令和7）年度までに8haの増加を目指しています。

2021（令和3）年度の市内の緑の確保量は1,612haであり、基準年である2018（平成30）年度の1,609haと比較すると、3ha増（増減率では100.2%）となりました。

2025（令和7）年度の目標に対して、あと5haの確保が必要です。

表 15 市内の緑の確保量の状況

項目	目標	単位	基準年 2018 (平成30) 年度	2021 (令和3) 年度	対基準年 増減率	目標年 2025 (令和7) 年度
市内の緑の確保量	8ha増加	ha	1,609	1,612	+0.2%	1,617

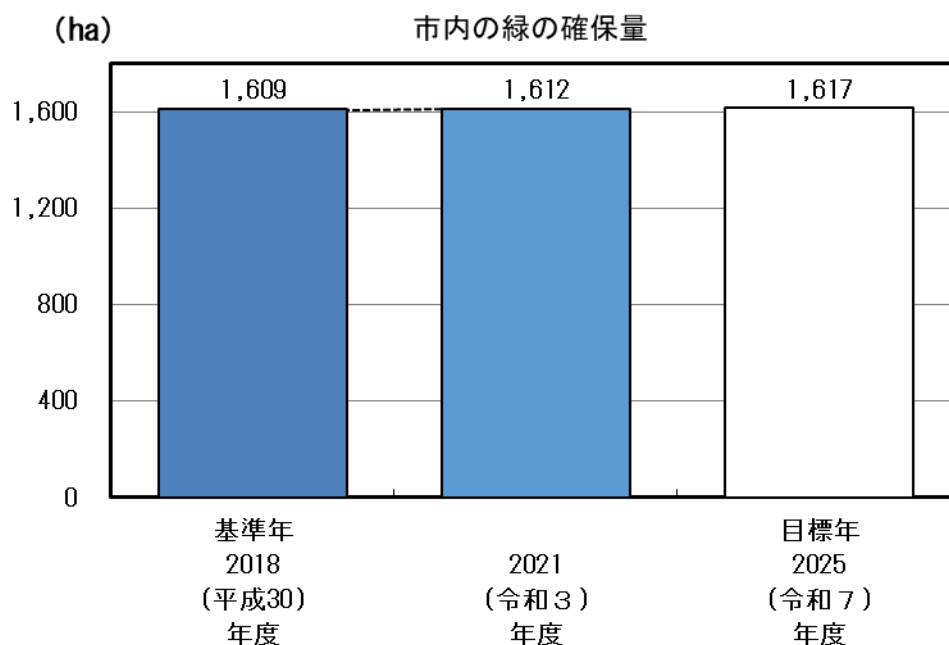


図 27 市内の緑の確保量の状況

② 都市公園面積

都市公園面積は、目標年の2025（令和7）年度までに8 haの増加を目指しています。

2021（令和3）年度の都市公園面積は150 haであり、基準年である2018（平成30）年度の150 haと比較して増減はありませんでした。

目標達成には、あと8 haの増加が必要です。

表 16 都市公園面積の状況

項目	目標	単位	基準年 2018 (平成30) 年度	2021 (令和3) 年度	対基準年 増減率	目標年 2025 (令和7) 年度
都市公園面積	8ha増加	ha	150	150	0.0%	158

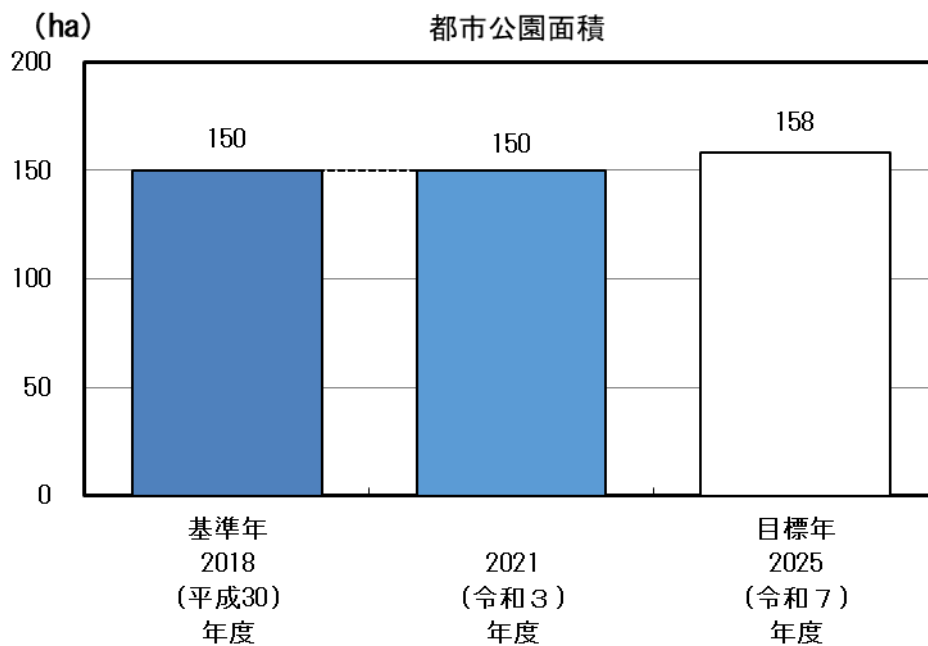


図 28 都市公園面積の状況

市民・事業者の環境に配慮した行動の促進

～ 「市民・事業者への環境配慮指針」の普及 ～

「市民・事業者への環境配慮指針」の普及度は、『ごみの焼却量』、『補助事業の交付状況』で測っています。

また、本市の職員は、「市民・事業者への環境配慮指針」に定めた行動を進んで実践し、市民の模範となることにより、市民・事業者の環境に配慮した行動の促進を図ることが必要です。このため『ノーカーデー実施率』について目標を設定し、目標の達成に向けて努力するものとしています。

1 一般廃棄物焼却量

4 %削減する

2018（平成30）年度 **28,498 トン**を 2025（令和7）年度に **27,358 トン** とする

2 補助事業の交付状況

表 17 補助事業の交付状況

項 目		目標 (増加量)	基準年 (2018年度)	目標年 (2025年度)
生ごみ処理機	コンポスト容器、ぼかし容器	176 基	13,303 基	13,620 基
	機械式生ごみ処理機	141 基		
	計	317 基		
太陽光発電システム		500 件	1,314 件	1,814 件
省エネルギーシステム		340 件	174 件	514 件
雨水貯留タンク		91 施設	619 施設	710 施設
高度処理型合併処理浄化槽		245 基	496 基	741 基

備考) 基準年、目標年に示す数値は、延べ数である。

3 市役所庁舎勤務の職員によるノーカーデー実施率

2025（令和7）年度の実施率を **50 %**とする

1 一般廃棄物焼却量（前掲のとおり）

2 補助事業の交付状況

① 生ごみ処理機

生ごみ処理機に係る補助件数は、目標年の2025（令和7）年度までに合計317基の増加を目指しています。

2021（令和3）年度までの生ごみ処理機に係る補助件数は13,431基であり、基準年である2018（平成30）年度の13,303基と比較して128基増加となりました。

目標達成のためには、あと189基の増加が必要です。

表 18 生ごみ処理機に係る補助件数の状況

項目	目標 (増加量)	単位	基準年 2018 (平成 30) 年度	2021 (令和3) 年度	対基準 年 増加量	目標年 2025 (令和7) 年度
コンポスト容器、ぼかし容器	176	基	11,905	11,996	91	—
機械式生ごみ処理機	141	基	1,398	1,435	37	—
計	317	基	13,303	13,431	128	13,620

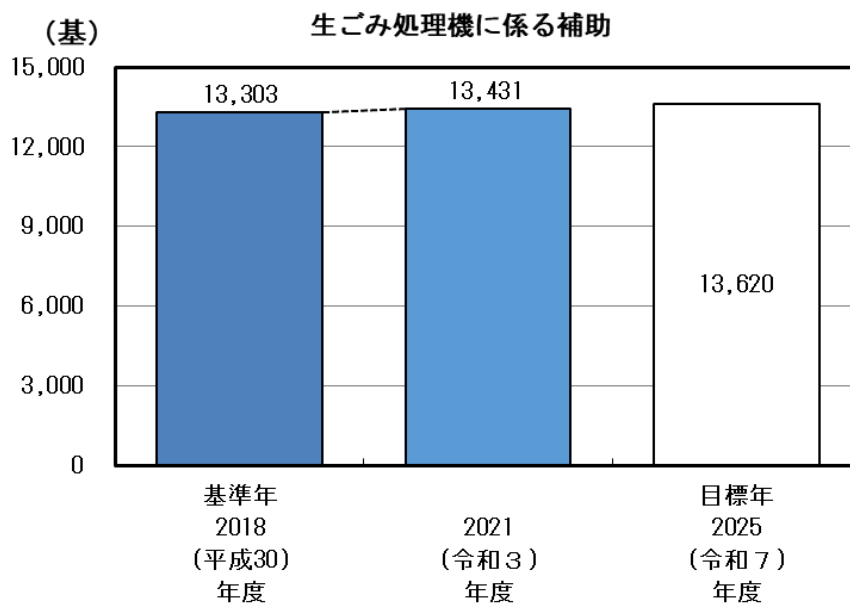


図 29 生ごみ処理機に係る補助件数の状況

② 太陽光発電システム

太陽光発電システムに係る補助件数は、目標年の2025（令和7）年度までに500件の増加を目指しています。

2021（令和3）年度までの太陽光発電システムに係る補助件数は1,409件であり、基準年である2018（平成30）年度の1,314件と比較して95件増加となりました。目標達成のためには、あと405件の増加が必要です。

表 19 太陽光発電システムに係る補助件数の状況

項目	目標 (増加量)	単位	基準年 2018 (平成 30) 年度	2021 (令和3) 年度	対基準 年 増加量	目標年 2025 (令和7) 年度
太陽光発電システム	740	件	1,314	1,409	95	1,814

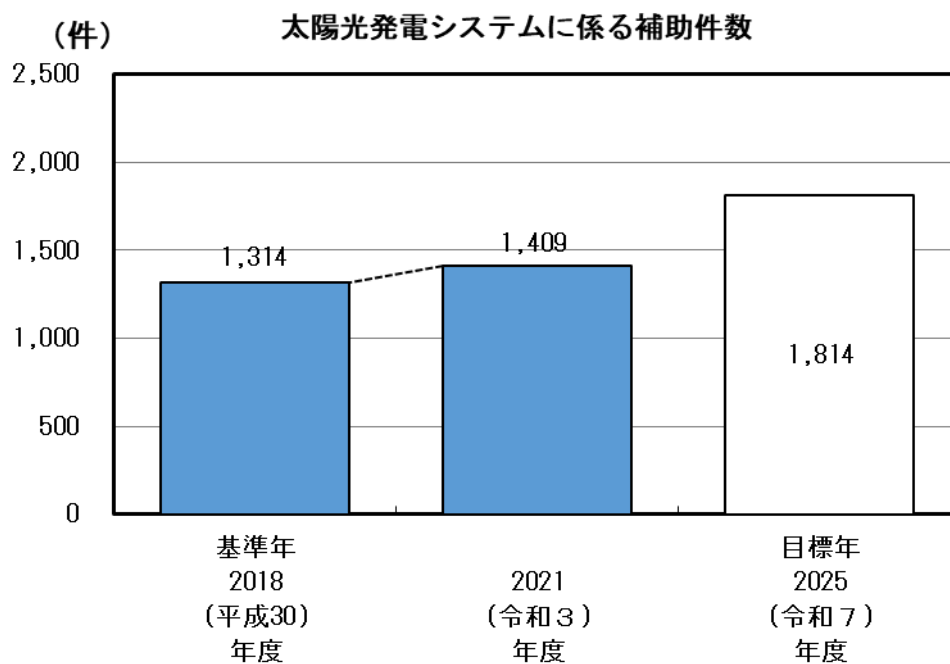


図 30 太陽光発電システムに係る補助件数の状況

③ 省エネルギーシステム

省エネルギーシステム（※蓄電池、エネファーム、断熱窓等）に係る補助件数は、目標年の2025（令和7）年度までに340件の増加を目指しています。

2021（令和3）年度までの省エネルギーシステムに係る補助件数は393件であり、基準年である2018（平成30）年度の174件と比較して219件増加となりました。

目標達成のためには、あと121件の増加が必要です。

表20 省エネルギーシステムに係る補助件数の状況

項目	目標 (増加量)	単位	基準年 2018 (平成 30) 年度	2021 (令和3) 年度	対基準 年 増加量	目標年 2025 (令和7) 年度
省エネルギーシステム	340	件	174	393	219	514

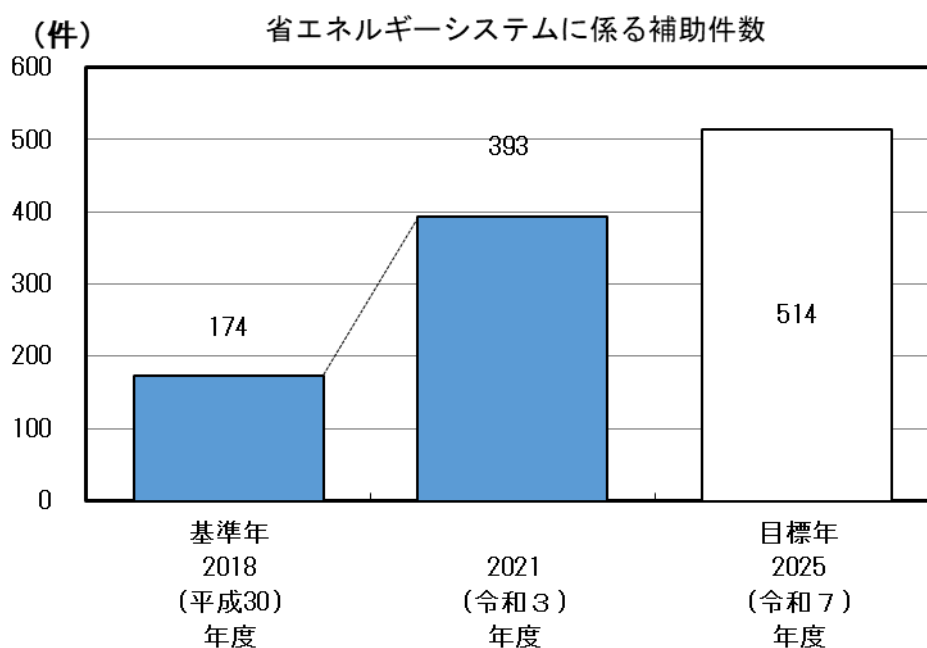


図31 省エネルギーシステムに係る補助件数の状況

④ 雨水貯留タンク

雨水貯留タンクに係る補助件数は、目標年の2025（令和7）年度までに合計91施設の増加を目指しています。

2021（令和3）年度までの雨水貯留タンクに係る補助件数は648施設であり、基準年である2018（平成30）年度の619施設と比較すると29施設増加となりました。

目標達成のためには、あと62施設の増加が必要です。

表 21 雨水貯留タンクに係る補助件数の状況

項目	目標 (増加量)	単位	基準年 2018 (平成 30) 年度	2021 (令和3) 年度	対基準 年 増加量	目標年 2025 (令和7) 年度
雨水貯留タンク	91	施設	619	648	29	710

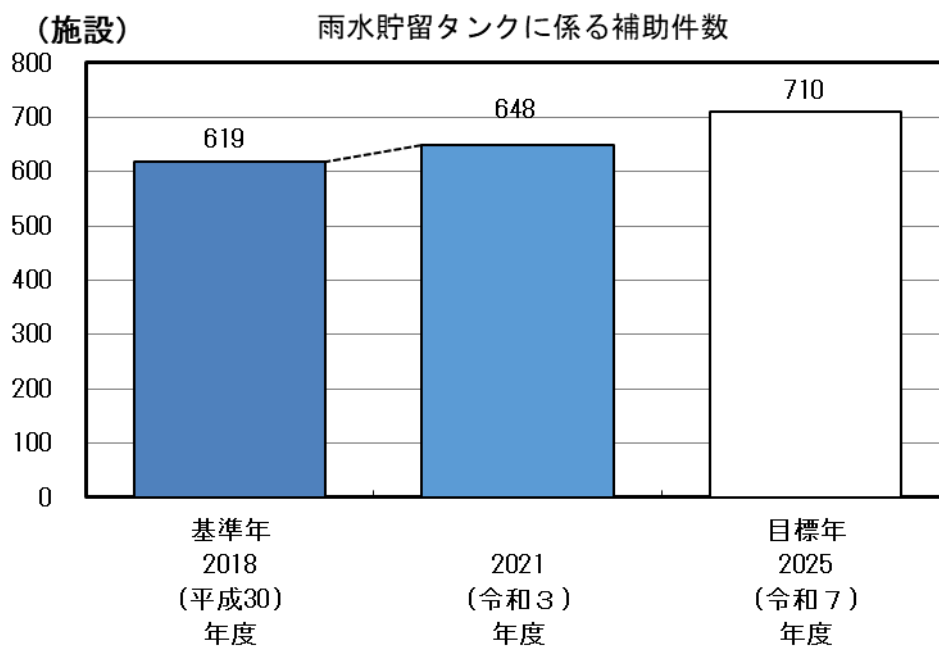


図 32 雨水貯留タンクに係る補助件数の状況

⑤ 高度処理型合併処理浄化槽

高度処理型合併処理浄化槽に係る補助件数は、目標年の2025（令和7）年度までに合計245基の増加を目指しています。

2021（令和3）年度までの高度処理型合併処理浄化槽に係る補助件数は572基であり、基準年である2018（平成30）年度の496基に対して76基増加しました。

目標達成のためには、あと169基の増加が必要です。

表 22 高度処理型合併処理浄化槽に係る補助件数の状況

項目	目標 (増加量)	単位	基準年 2018 (平成30) 年度	2021 (令和3) 年度	対基準 年 増加量	目標年 2025 (令和7) 年度
高度処理型合併処理浄化槽	245	基	496	572	76	741

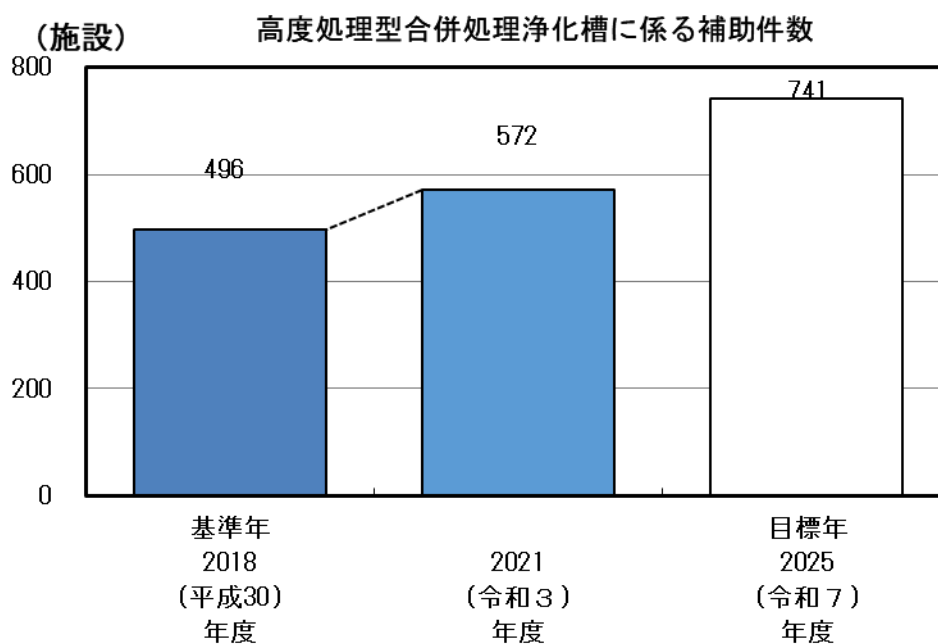


図 33 高度処理型合併処理浄化槽に係る補助件数の状況

3 ノーカーデー実施率

ノーカーデー実施率は、目標年の2025（令和7）年度までに50%（延べ人数、市役所庁舎のみ）を目指しています。

2021（令和3）年度の市役所庁舎でのノーカーデー実施率は40%であり、目標値を10ポイント下回りました。理由としては、新型コロナウイルス感染症対策を優先したため、公共交通機関の利用を避ける職員が多かったことが挙げられます。

なお、2021（令和3）年度の市役所庁舎外でのノーカーデー実施率は29%、市全体では34%でした。

表 23 ノーカーデー実施率の状況

項目		目標	単位	基準年 2018 (平成30) 年度	2021 (令和3) 年度	対基準 年 増減率	目標年 2025 (令和7) 年度
ノーカー デー 実施率	市役所庁舎	50%	%	59	40	-19	50
	市役所庁舎外	—	%	38	29	-9	—
	市全体	—	%	48	34	-14	—

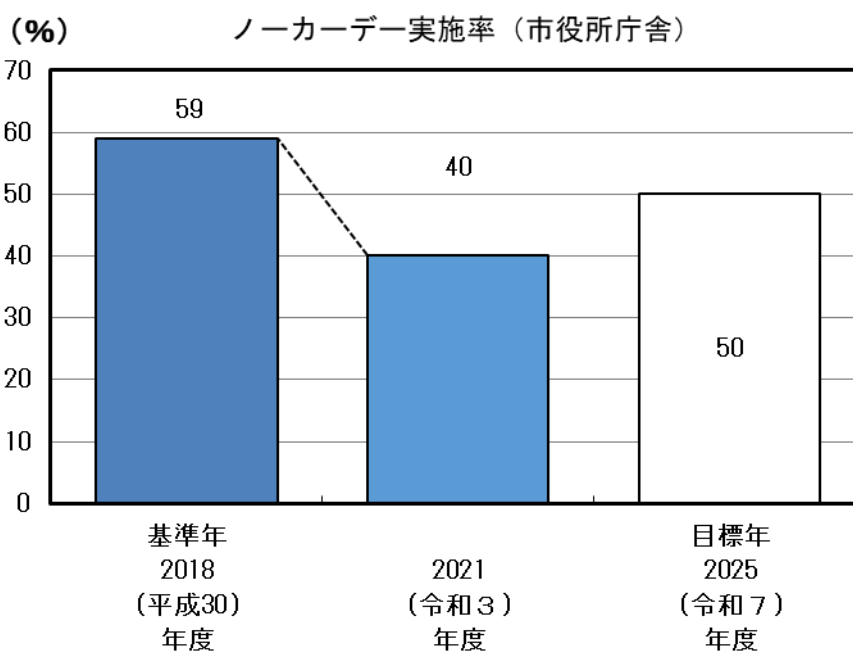


図 34 ノーカーデー実施率の状況（市役所庁舎）